

平成 18 年度
みやこ町海外ホームステイ事業

Australia 2006

Report

報告書

目次

研修日程

3

研修の思い出

4~18

アンケート結果

終わりに



本研修日程



| 日程 | 場所 | コース |
|----------|----------------------------|---|
| 8/18 (金) | みやこ町 福岡空港 シンガポール | <ul style="list-style-type: none"> • みやこ町から福岡空港国際線ターミナルへ • 出国手続き後、シンガポールへ • 到着後、乗り継ぎ • オーストラリア ブリスベンへ |
| 8/19 (土) | ブリスベン | <ul style="list-style-type: none"> • ブリスベン到着。入国手続き後、市内観光（マウントクーサ展望台、ローンパイン・コアラ保護区） • 昼食後、ホストファミリーとご対面 |
| 8/20 (日) | ブリスベン | <ul style="list-style-type: none"> • ホストファミリーとの1日 |
| 8/21 (月) | ブリスベン | <ul style="list-style-type: none"> • ホスト学校へ登校 午前：英語・文化レッスン 午後：対面式、現地生徒と交流 |
| 8/22 (火) | ブリスベン | <ul style="list-style-type: none"> • ホスト学校へ登校 午前：英語・文化レッスン 午後：クイーンズランド博物館見学 |
| 8/23 (水) | ブリスベン | <ul style="list-style-type: none"> • ホスト学校へ登校 午前：英語・文化レッスン 午後：終了式とお別れパーティ |
| 8/24 (木) | ブリスベン シンガポール | <ul style="list-style-type: none"> • 午前：ホストファミリーとお別れ • 出国手続き後、シンガポールへ • 到着後、福岡へ |
| 8/25 (金) | 福岡空港 みやこ町 | <ul style="list-style-type: none"> • 福岡到着。入国手続き後、みやこ町へ • 着後、解団式 |



レポート

Y. O. 犀川中学校2年

ホームステイ家族：Zhang

お父さん：Dan Yue お母さん：Chun De

兄弟：George and Kerry



家族との写真。
お別れの時、学校で

よかったこと

- ・オーストラリアの文化、習慣を知ることができた。

きつかったこと

- ・学校の生徒が次から次へと話しかけてきたこと。

食べ物

美味しかったもの

- ・シリアル

苦手だったもの

- ・ランチボックス

思い出 ベスト3!

- 1 家族とビーチに行ったこと
- 2 バーベキュー
- 3 授業

ホームステイでの8日間

8月18日、いよいよ旅立ちの日がやってきた。飛行機、海外、ホームステイとどれも初めてのことばかり。そのとき頭の中は不安でいっぱいだった。シンガポールの空港は予想以上に広く、歩くだけでも疲れた。飛行機での長い移動が終わり、19日の昼過ぎ、ホストファミリーと会った。家に着いて家族の人とも会ったが、初めは緊張してあまり話せなかった。家族4人は元気がよく話し好きで、とてもテンションが高く、ドラマ好きな家族だった。

20日は家族と近くのビーチに行った。そこではケリーとサッカーやたこ揚げをした。

21日、ケリーとともに学校に登校した。そこで生徒が次々と話しかけてくるので、何がなんだかわからなくなった。でも答えないと悪いから、なんとなく

答えたり、勝手に別の話に変えたりした。

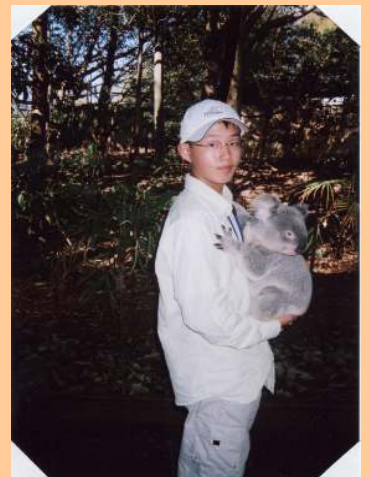
次の日の午後は博物館に行った。そこにはオーストラリアの動物や先住民族の資料などがたくさんあり、この国の動物や先住民族のことが大体わかった。帰国前日の昼はバーベキューをした。小さいのに一つ食べただけでおなかいっぱいになった。その後、体育館で歌を歌ったが、「Waltzing Matilda」は時々引かかった。また、副校長先生からプレゼントをもらった。こんなにもらっていいのかと思うぐらい入っていたので、びっくりした。そして最後の日、学校で家族と握手をしてから別れた。このホームステイを通して日本と異なる文化や習慣を体験できた。8日間は短くハードなスケジュールだったけど、様々な経験や体験ができた。この経験はいつか役立つかもしれないから、このことを忘れずにこれからもがんばりたい。



家族とビーチに行ったときの写真。僕はタコをもっています



飛行機からの写真。
下が雲しか見えません



コアラがそっぽを向いています

レポート

Y. M. 豊津中学校3年
ホームステイ家族：Bain
お父さん：Neil お母さん：Sonia
兄弟：Josephine and Francine



家の庭で。ホストファミリーと最後の日に。
子どもが着ているのが制服

よかったこと

- 外国の人ともコミュニケーションがとれるようになったこと
- 英語を使うことができたこと

きつかったこと

- 乗り継ぎとその待ち時間
- 自分の思いを伝えるのにどういえばいいのか考えるのが大変だった

ホームステイを終えて

私は、中学で英語を習い始めてからずっとホームステイをしてみたいという夢があったので、今回参加できて良かったです。

私たちのホストファミリーは、4人家族で9歳と6歳の女の子がいました。身長に差がなかったため、最初はどちらが姉・妹なのかわかりませんでした。けど一緒にいるうちにだんだんわかってきました。けんかの少ない姉妹だったと思います。

最初はうまくコミュニケーションがとれなかったけど、よく聞かれる質問とかがわかってくると、返事ができるようになりました。でも、英語を聞き取るのは難しく、何度も聞きなおしました。それでも嫌がらずに、何度でも言い直してくれたのは嬉しかったです。言っていることがわかると少し会話ができるので楽しかったです。

学校では、毎日絵日記を書いたので、文を書く力がついたと思います。

体育の時はたくさんの人と話せたり、友だちもできてよかったです。

日曜日はビーチに連れて行ってもらいました。周辺のお店にも行きましたが、何も買いませんでした。お昼は、おばあちゃんの家で食べました。家で食べ物の中でおいしくなかったものはありませんでした。どれもすごくおいしかったです。最後の日にはプレゼントと手紙をもらいました。ずっと大切にしておきたいと思います。

私はホームステイをしてみて、日本では学べないことを学べたと思います。これからはもっと英語を勉強して、話せるようになりたいです。手紙などもスラスラかけて、読めるようになりたいです。今回のホームステイでの経験が無駄にしないためにもいろいろなことにいかしていけるようにします。

思い出 ベスト3！

- 1 ホストファミリーの方と過ごしたこと
- 2 ブリスベンの観光
- 3 学校でのスポーツなど



日曜日にビーチに連れて行ってくれました。
おばあちゃんの家から歩いていきました



マウントクーサ展望台。
ブリスベンを一望できました



ローン・パイン コアラ保護区。
コアラと写真を撮らなかったの
で、その間に撮りました

レポート

M. S. 犀川中学校 1年
ホームステイ家族：Mcgowen
お父さん：Allan お母さん：Tania
兄弟：Bonnie and Joshua, Alexandra



犬や猫のペットとみんな一緒に

よかったこと

- 自分なりに積極的に英語を使うことができたこと

きつかったこと

- 英語が理解できなかったこと



思い出 ベスト3!

- 1 シーワールドに行ったこと
- 2 ショッピング
- 3 5年生とスポーツをしたこと

ホームステイを終えて

私がお世話になったホストファミリーのかたは、お父さんのアランさんは面白くて、いつもにぎやかにしてくれました。次にお母さんのタニアさんは私たちにいつも優しくしてくれました。お姉さんのボニーさんはショッピングに連れて行ってくれました。弟のジョシュア君、そして妹のアレクサンドラちゃんは、とても元気がよくてお土産の紙ふうせんで楽しく遊んでくれました。

よかったところは、みんながとてもやさしかったところ。きつかったところはやっぱり英語が話せなかったところです。でもジェスチャーなどでなんとか乗り越えました。これから積極的に英語を学んでいこうと思ったところが前と比べて成長したと思いました。

今回のホームステイで得た経験をこれからまた外国などに行くかもしれないから、そんなところにも生かしていきたいし、学校の学習にも生かしていきたいです。



ファミリーとシーワールドに行ったときの写真です



アレクサンドラとその友だち。コマをして遊びました

レポート

K. N. 犀川中学校3年
ホームステイ家族：Zhang
お父さん：Dan Yue お母さん：Chun De
兄弟：George and Kerry



学校で、ホストファミリーと

よかったこと

- 学校で授業を受けたり、生徒とふれあえたこと



日曜日に行った海の風景

思い出 ベスト3！

- 1 海に行ったこと
- 2 学校での授業
- 3 現地生徒とのふれあい

ホームステイを終えて

まずはホームステイファミリーの紹介から。僕と緒方君はザング家にホームステイをした。ここの家族構成は母はチュンディーさん、父はダンユーさん、子どもはジョージ(21)とケリー(9)となっている。

この研修でよかったことといえば、いろいろと貴重な体験ができたことだ。たとえば、オーストラリアの学校で授業を受けたり、その学校の生徒とふれあったりした。また、オーストラリアの家庭での生活もわかった。

一方で言葉の壁が立ちはだかった。相手の言っていることが聞き取れず、聞き取れても答え方に窮するようなことがしばしばあった。

そのため、パニックになり、何の返事もすることなく会話が終わってしまうこともあった。その点を少し後悔している。

この研修を通じて、オーストラリアについて、少しだけ知ることができたのではないかと思う。ただ、「うまくコミュニケーションをとれるだろうか」という不安からしゃべることがほとんどできなかった。なので今後は、もう少し積極的にコミュニケーションをとれるようになりたいと思う。



ローンバインコアラ保護区で



ジーバン学校の生徒と

レポート

Y. M. 豊津中学校3年

ホームステイ家族：Mu her ee

お父さん：Shan ar お母さん：Sonali

兄弟：Sagar and Sneha



ホストファミリーと一緒に

よかったこと

- 授業を受けて少し自 がついたこと

ホームステイを終えて

私はこのホームステイで初めて外国に行きました。最初の日は一日を飛行機の中ですごしてとても大変でした。2日目は くにオーストラリアに着き、みんなと一緒に観光して、ホストファミリーとの対面ですごくドキドキしました。私がお世話になった家族は、4人家族でインド の家庭でした。4人に英語で自 紹介しようと思ったら、向こうから日本語で話しかけられ、家族をそれ れ紹介してくれました。家に着くと、 買い物に行きました。食 り場に行くと大きなカートがあり、それいっぱい買い物をしました。日本とは ん ん う光 でした。

家に帰ってしばらくするとケーキが出てきて、分後に 食が出てきました。初日の 食はカレーでしたが、日本とはまったく うカレーでした。イ は ごと入っていて、 は ばかりでした。オーストラリアでは 食以外に食べることが かったです。

思い出 ベスト3！

- 1 ビーチに行ったこと
- 2 ブリスベンの観光
- 3 買い物にいったこと

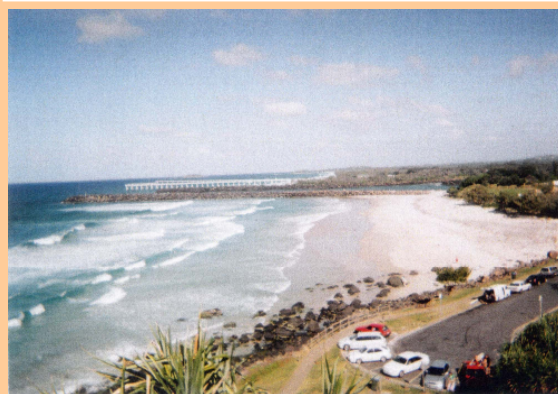
次の日は家族でビーチに30分以上もかけて行きました。 かかったけど、 なのにビーチには人が結構いました。海はとても広くきれいで、ここでも日本とは うなと思いました。お昼はファーストフードでした。外国の食べ物がすべてでかいと聞いていたけど、本物を見るとビックリしました。 はわからないけど、ポテトの は日本の10 以上はありました。

オーストラリアについて3日目、初めて学校に行って授業が始まって、11時に「おやつ時間」、日本ではないことなのでビックリしました。自 に食べたり、外でみんなで になって話したり、ボールで遊んだりしました。 は った紙 とお手 で遊びました。

オーストラリアにいくまで19時間、帰り着くまでも長かったけど、オーストラリアに た時間はとても短く じました。オーストラリアに行って、今までにしたことのない体験ができてよかったです。ありがとう いました。



ブリスベン市役所



日のビーチ



機内食

レポート

K. . 勝 中学校 1年

ホームステイ家族：Bain

お父さん：Neil お母さん：Sonia

兄弟：Josephine and Francine



ホストファミリーと庭にて

よかったこと

- ・オーストラリアの人たちとコミュニケーションがとれたこと

きつかったこと

- ・飛行機に乗っている時間

食べ物

美味しかったもの

- ・ラザニア

苦手だったもの

- ・機内食のカレー

思い出 ベスト3!

- 1 コアラをダッコしたこと
- 2 みんなでスポーツしたこと
- 3 サンシャイン・コーストに行ったこと

ホームステイを終えて

8月18日、台中中の、オーストラリアのブリスベンへとホームステイに出しました。私のホームステイファミリーはお父さんのニールさん、お母さんのニアさん、長女ジョフィン、次女フランシンの4人家族です。みな優しく、楽しい家庭でした。料理もとてもおいしかったです。ブリスベンでは真でしたが、一年中かい気なので日本のようでした。度もくカラッとしていて、すごしやすかったです。学校は日本と少しって、1年生から年生までが日本の小学生で、8年生からが高校生です。

昼食のに、10時におやつがあります。み物とクッキーなどを食べ、日本に比べてっくり時間が過ぎてるようにじました。授業のほかにムや動の時間などがあり、言葉がうまく通じなくても楽しことができました。

ホームステイをしてよかったことは、オーストラリアの人たちとコミュニケーションをとれたことと、文化などにふれて、学ことができたことです。ホームステイをしてきつかったことは飛行機の乗り継ぎなどで移動時間が長かったことです。とてもだったので、を見たりしていました。あとは機内食が思ったよりおいしくなかったことです。

私はホームステイ研修でいろいろなことを体験することができました。言葉や文化がう国での生活で、自分のことは自分で解し、自立していく強さをうことができました。また、積極的に言動でう大切さを学びました。研修で学んだことを今後の人生に生かしていきたいと思います。そして、オーストラリアで学んだ英語をもっともっと勉強して、海外へ行ったり、外国人の方とする機会があったときの参考にしたいと思います。そして、難なことにも研修のことを思い出し、乗り越えていきたいと思います。



ホストファミリーのフランシンの生たちと



サンシャイン・コーストにて



ローン・パイン コアラ保護区で

レポート

勝 中学校1年
 ホームステイ家族：Mcgowen
 お父さん：Allan お母さん：Tania
 兄弟：Bonnie and Joshua , Alexandra



ホストファミリーと

| | |
|---------------------------------|-------------------|
| よかったこと ・ホストファミリーの家に まったこと | きつかったこと ・飛行機の中 |
|---------------------------------|-------------------|

食べ物

| | |
|--------------------|------------------|
| 美味しかったもの ・チキンカツ | 苦手だったもの ・シリアル |
|--------------------|------------------|

思い出 ベスト3!

- 1 ホストファミリーと遊んだこと
- 2 シーワールドに行ったこと
- 3 博物館、買い物に行ったこと

オーストラリア・ホームステイ

オーストラリアを観光したときにコアラをダッコしたのがとってもにりました。いろいろな動物を見て楽しかったです。ホストファミリーと対面する前とっても緊張しました。

ホストファミリーの家には犬が1とインコが2、猫が1いました。犬はとっても大きく、猫は白くてきれいでした。インコはホストファミリーにとってもよくなついていました。私の家にもインコがいるのでうれしかったです。

次の日はシーワールドに行きました。イルカ、サ、シロクマ、いろいろながいました。シーワールドでホームシックにかかってしまって、何を見ても家族のことばかり思い出して、いてしまいました。ホストファミリーのお母さんがなぐさめてくれて、みんなすご

くやさしくしてくれました。シーワールドでおみやげを買いました。そのときはきやんでいただけ、学校でまたいてしまいました。

ホストファミリーを紹介します。お父さんのアランは面白くてやさしい人。お母さんのタニアはやさしくて、いろいろえてくれました。お姉ちゃんのボニーはかわいくて、りがいがありました。弟のジョシュアはかっぱつでいつも元気、妹のアレクサンドラはかわいくてとてもやさしかったです。

オーストラリアではあんまり食べれませんでした。おいしかったけどおなかに入りませんでした。帰るときはもう帰りたくありませんでした。帰りたくなくていてしまいました。また、オーストラリアに行きたいです。じホストファミリーの家にまりたいです。



ジーバン学校の生徒と



学校の先生と



カンガルーと一緒に写りました

レポート

犀川中学校 2年

ホームステイ家族：Carter

お父さん：James お母さん：Monica

兄弟：Rebecca and Matthew



ホストファミリーと一日を過ごした日の写真です

よかったこと

- 習っていた英語で家族の人や友達と結構しゃべれたこと

だったこと

- もう2日くらい ましたかったです。やっと少し慣れてきたところだったので、もう少し長くいたかったです

食べ物

美味しかったもの

- フルーツサラダ
- チキンとクリームソース
- ポロニーゼ

苦手だったもの

- ハンバーガーにはさんでいた「かき」

ホストファミリーと会って

オーストラリアに着くまではとても不安でした。ちゃんと話せるかなとかいろいろ考えていました。けど、オーストラリアに着いたらあんまり海外にいたって感じがなくて、なんとかなると思っていたら本になんとかになりました。

ホストファミリーと初めて会ったとき、ニカさんやレベッカがの中でたくさん話しかけてくれました。最初は「Yes」と語しか言えなかったけど、だんだん英語に聞きなれてきて通にしゃべれるようになりました。ホストファミリーと一日一緒に過ごす日、海やに連れて行ってくれました。オーストラリアの海やはとてもきれいでした。の水は人がんでも大だよとジムさんが言っていました。

オーストラリアの自はとてもキレイだと思いました。

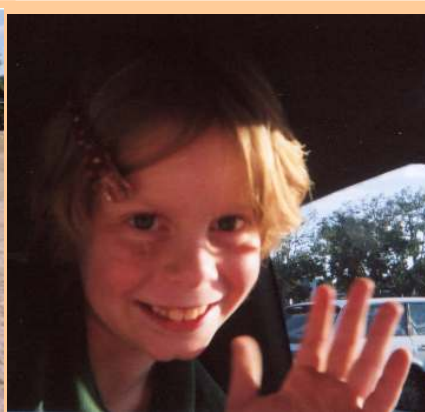
日を重ていくうちに、たくさんしゃべれるようになりました。別れの時はとてもしかったです。もう少ししたいなと思いました。

日本に帰ってからすぐにメールをりました。私はオーストラリアに行って、ホストファミリーに会えてとてもよかったと思いました。

これからもっと英語の勉強をして、また会いに行きたいです。



レベッカの友達と一緒に。初めて学校に行ったときの写真



マシューが私のピンをして遊んでいます



の写真です。とてもキレイでした

レポート

犀川中学校 1年

ホームステイ家族：Mu her ee

お父さん：Shan ar お母さん：Sonali

兄弟：Sagar and Sneha



日本へ帰るとき、最後に撮った写真

食べ物

美味しかったもの

- ・ サンドイッチ
- ・ ミートパイ
- ・ チョコレートケーキ

苦手だったもの

- ・ シリアル
- ・ カレー
- ・ のフライ

思い出 ベスト3！

- 1 海に行ったこと
- 2 みんなで遊んだこと
- 3 ショッピングに行ったこと

ホームステイを終えて

1日目、まず、役場に し、福岡空港へ向かいました。そして、福岡からシンガポール、シンガポールからオーストラリアと19時間 にってオーストラリアをめ しました。

オーストラリアに着き、レストランや動物 などにいき、学校へ着きました。そして、ホームステイ先の家族と面会しました。私がホームステイをする家族は、父シャンカー、母 ナリ、兄サガー、妹ス ハ、み うじがマッカージです。私はよく、ス ハと紙ふうせんやお手 、けん などで遊びました。

学校にも行きました。初めて学校へ行ったとき、子から「お元気ですか 」と日本語で聞かれ、びっくりしました。

学校が終わってから近くの にも行きました。楽しかったです。テニスもしました。テニスは ちゃくちゃ難しく てなかったけど、ハナという友だちも

できました。ランチタイムではサンドイッチを食べました。おいしかったです。

父と母はもともとインド人で、ス ハとサガーはオーストラリア人です。だから、お 子みたいな物は手で食べていました。私には無理があったのでスプーンを りました。でも、お 子はあまり好きじゃなかったです。

海にもつれて行ってくれました。オーストラリアの海は日本とちがい、 ミも ててないし、海の が真っ でとてもきれいでした。

あんなこんなで日がどんどんすぎていき、日本へ帰らなければならない日がきました。私はオーストラリアに行き、思ったこと。それ れの国にはちがいがあること、そして、自分の国の食文化などを大切にしていることです。これらは大切なことだと思います。また機会があればいろんな国へ行きたいです。



学校でのランチタイムにス ハの友だちの写真



みんなで楽しく過ごした家

レポート

K. N. 豊津中学校3年
ホームステイ家族：Green
お母さん：Narelle
兄弟： rin, Kahlia, S ye, and Ro ie



すくくにぎやかでした！

よかったこと

- に乗れた！
- ホームステイ家族 と 良くできた
- 積極的に話しかけることができた
- 英語力に少し自 がついた
- たくさんの良い思い出ができたこと

ホームステイ事業で学んだこと

私のホームステイファミリーはグリーン一家でした。お母さんはナレルさん、子どもたちは リン、カーリア、スカイ、ロビーの4人です。家族みな、とても元気がよく、 るい家庭でした。また、動物もたくさんいて本 ににぎやかでした。その中でも、 は に く、乗 を習いに る人もいました。だから私のお世話や小 の も手伝いました。日曜日に私自身も に乗せてもらいました。予想以上に く ったので、バランスをとることがとても難しかったです。 にも子どもたちと広い庭でかくれん をしました。自 とふれ いながら、思いきり遊 ことができたので、とても楽しい思い出の一つになりました。

しかし、すべてが楽しいものではありませんでした。きついこともありました。それは私の苦手な食べ物がたくさん出てきたことです。したら だと思いい、がんばって食べました。

きつかったこと

- 自分の伝えたいことがうまく伝わらなかった
- 苦手な食べ物がたくさん出てきた
- が れてとても かった

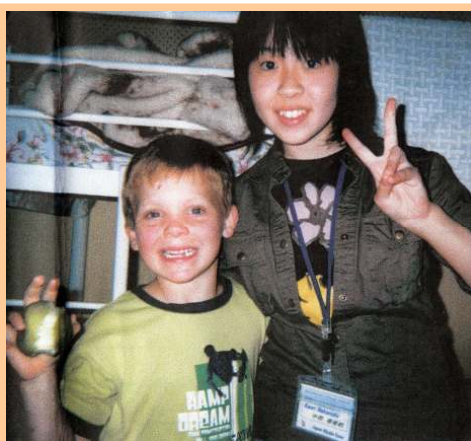
そんな経験もできたので、今、日本の料理を味わって食べることができるのだと思います。

私は、このホームステイ事業に参加して、何にでもしてみようというチャレンジ を強く つよくなったと思います。また、自分でできることは自分でしようという を に つよくなりました。この を忘れずに、これからの日 生活や学校生活など、あら る場面に役立てたいと思います。

今回、この事業でたくさんのことを学 ことができました。自分の日 生活を見直すことも出きました。私にとって、本 により経験となりました。

最後に、この事業にたずさわっていただいたみなさん、本 にありがとうございます。そして参加することを してくれた に しています。

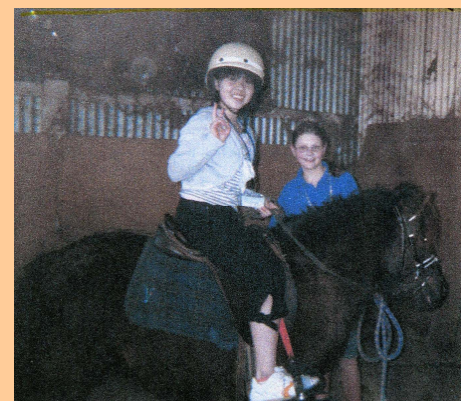
この事業に参加できて、本 によかったです。



最後の日、 つ子のロビーと一緒に



学校で 年生のみんなとスポーツをした時の写真



ホストファミリー で に乗せてもらいました

レポート

S. . 豊津中学校3年
 ホームステイ家族：Zalews i
 お母さん：Fran
 兄弟：Ji y, Jac , Ti any and Fran



私のホストファミリーです

| | |
|---|---|
| よかったこと <ul style="list-style-type: none"> ・学校で子どもたちといっばい遊んだこと | きつかったこと <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物があったので、「」が食べたかった |
|---|---|

ホームステイのレポート

最初に、ホストファミリーの紹介をします。私を受け入れてくださった家族の前は、ZA WSK (ザロウェスキ) さん でした。家族はあわせて5人。そのうち4人は子どもでした。子どもの前はジミー、ジャック、ティファニー、フランク、そして母はフランさんです。

最初は どうやって していいかわからず、フランさんの言うままに動いていました。フランさんと話していると、なんと私たちがホストファミリーしたのをあわせると 8 回もホストファミリーをしていたことがわかりました。それを聞いて私はとてもビックリしました。すごく日本に があるんだなあと思いました。初めて会った日はわくわくしていました。しかし、オーストラリアは がりません。だから現地の人々は2日が3日に1回しかシャワーを びられないそうです。それを聞いて私は 直「不 」と思いました。

「こんなこと日本ではないのに 」と思いながら5日間、ホストファミリーと一緒に過ごしました。これが日本とオーストラリアの いなんだなあと思います。なので、日本という国はオーストラリアに比べて 福な国だなあとの経験を通して強く思います。水があるかないかで、こんなにも生活がかわってくるんだなあと思いました。

私たちが何気なく生活している中で、「水」は あら るものに使われています。その生活の中で「水」がなくなってしまうたら、どうになってしまうのか、そう考えるだけでも不安になってしまいます。私はこの経験を経て、水の大切さを めて しました。広でも水がないという事 が きました。もしそれが、福岡だったら、みやこ町だったら私たちは何ができるだろうか。た ん何もできないまま、 をただただ待ち望 ことしかできないと思います。まさか水がなくなるとは にも予想がつかないと思います。だから今からでも少しずつ、できるだけ 水に カしようと思います。日本という国は、いろいろな国に比べて福な国だと、この経験を通して強く思いました。



コアラと一緒に



カンガルーにえさをあげました



かった飛行機の中で

レポート

Y. N. 豊津中学校1年
ホームステイ家族：Zalews i
お母さん：Fran
兄弟：Ji y, Jac , Ti any and Fran

よかったこと

- 最後に5年生と一緒にスポーツしたこと



シンガポール空港に到着したとき

オーストラリアへの 一歩

8月18日、今日はオーストラリアのブリスベンまで行く。私はその時どのくらい飛行機に乗っとくんだらうかなと思いました。でも、オーストラリアに行くまでは1回シンガポール空港で乗りかえをしなければならなかったのです。そして、そのシンガポール空港では、5時間ぐらい飛行機を待たなければならなかったのです。でも、その空港はとても広く、キレイで空港とは思えませんでした。そこで場所をめました。そこはジャングルみたいでコイがたくさんいました。その場所で外国の人と写真をとったりして楽しみました。そして、その日は飛行機の中で一過しました。

オーストラリアに着き、一はじめに行ったのは展望台。その後日本という動物に行き、コアラと写真をとったり、昼は町のレストランで食事をとったりしました。

それからジーバン学校へ行き、ホストファミリーのおかえを待ちました。

「おかえだ。いやだな」。ちょっとためらいました。「でも、さんもいる事だし」。気をふりしって話すことにめました。

「ハロー」。そしたら返事が返ってきました。ちょっとうれしかったです。

それからホストファミリーの家にで向かいました。でも、オーストラリアはのどこに乗ってもシートベルトをしめなければならなかったのです。ちょっとビックリ。それから30分、やっとホストファミリーの家に着きました。

次の日はショッピングに行きました。月曜日はいよいよオーストラリアの学校へ通う。ジーバン学校の人たちはとてもやさしく切でした。そこで私は人気になりました。お昼はでした。ホストファミリーの子が私たちをかえにきてくれました。オーストラリアで過ごした日々は、とても楽しかったです。ホストファミリーの人もやさしくしてくれたし、学校の人たちもみんなやさしくしてくれたから、とてもよかったです。また、オーストラリアに行きたいです。



ホストファミリーとのお別れ



ただいま英語の授業中

レポート

K. . 育 館中学校 1年
 ホームステイ家族：Green
 お母さん：Narelle
 兄弟： rin, Kahlia, S ye, and Ro ie



真中の の服がお母さん。
 の服がカーリア、ピンクがスカイ、
 がロビー

思い出 ベスト3！

- 1 グリーンさんの庭で遊んだ
- 2 に乗ったこと
- 3 コアラを っこしたこと

よかったこと

- ・グリーンさんに会えて
 良く遊べたこと

きつかったこと

- ・飛行機が 出 だった
 こと

食 べ 物

美味しかったもの

- ・とり の いたもの

初めてのホームステイ ～オーストラリアへ～
 8月18日出 式が終わって、オーストラリアへ出 。
 私は、飛行機の中でだんだん になってきました。私
 は く英語が話せないなので、どうやったら 良くできる
 だろうか でした。

オーストラリアに着いたら、市内観光をしました。動
 物 に行き、私の楽しみの とつだったコアラを っこ
 することができました。

方、ホストファミリーの人たちと対面しました。私
 のステイ先はグリーンさんと言って、家はなんと 場で
 した。 がたくさんと もいて、 までいました。家
 の中には、犬が3 、猫も の大家族です。私は犬や
 猫が大好きなので、たくさんの動物がいるグリーンさん
 の家にステイすることができて本 に良かったです。家
 についてから、 場でかくれん をしたりして遊びまし
 た。

日は、日本からお土産で った団子 で、き
 なこだんごを3人で り、みんなにご しました。

お団子は好 でしたが、 はいまいちのようでした。
 グリーンさんの家の食事は、日本とそんなにかわら
 なかったですが、 食はコーンフレークやパンといった
 なものが かったです。食事が わなかったらどう
 しようと思ったけど、おいしく食べることができました。
 はカルタをしたり、 り紙を ったりして遊びました。
 後 けをしないで、 でカーリアたちと遊んでいた
 ので、後から考えると けの手伝いをするべきだっ
 たなと思いました。いろいろ聞かれても く理解できな
 かったので、一緒にステイしていた中 さんがだい 通
 してくれたので かりました。言葉が通じなくても、
 ジェスチャーなどで何とか一緒に遊んだりすることもで
 きましたが、英語が話せれば、もっと会話をして、自分
 の気 ちを相手に伝えることができて良かったと思いま
 す。またオーストラリアに行ける機会があったら、今度
 は ったい英語をもっと勉強して、自分から英語で話し
 かけるようにしたいです。また、私もホストファミリ
 ーとして の国の人に家に てもらいたいです。



にも乗せてもらいました



は でカルタをしてあそびました



場のロープで ったブランコ

レポート

・ S. 育 館中学校 1 年

ホームステイ家族：Carter

お父さん：James お母さん：Monica

兄弟：Rebecca and Matthew



ホストファミリーと

よかったこと

- 学校で授業を受けたり、生徒とふれあえたこと

ホームステイを終えて

私のホームステイ先は、カーターさん です。母はニカさん、父はジェームスさんです。子どもは 12 歳で女の子のレベッカと 8 歳で の子のマシューです。ペットは犬のベラです。家は学校から 22 分かかる少し大きめの家です。庭にはプールとバーベキューをするところがあります。家族の人たちはみんなるくて。たくさん話しかけてきます。私も最初はすごく緊張していましたが、みんなるいので、英語は通じませんでした。ジェスチャーなどでち解けられました。マシューはサッカーが大好きで、一緒にしたりしました。

つらかったのは、英語が通じなかったことです。私自身、あまり英語には自 が無いので、自分の話せることをなるべく話しました。しかし、イ スやサンキューくらいしか話せませんでした。なので、ジェスチャーなども使うようにしました。すると相手はどうかかわってくれるようになってくれました。



みんなでスポーツをしました



カンガルーと一緒に



日曜日に、海でレベッカと

思い出 ベスト 3！

- 1 海に行ったこと
- 2 学校での授業
- 3 現地生徒とのふれあい

初めからわかってくれたときは、とても嬉しかったです。

オーストラリアに行って私が いたことは、まず、いろいろなものが日本の はあることです。果物の大きさが くらいあるものもありました。トイレトペーパーが くらい いてあるのにも きました。次にはすごく えるのに、昼になると初 くらいの さになることです。しかも現地の人たちは や の いときでも そでを着ていました。最後にみんな 想がとてもいいことです。どこに行っても話しかけてきたり、ニコニコしながら してくれます。日本では、通、そんなに 想がありません。そして、話しかけられると自分もとても嬉しくなります。

私はこのホームステイでいろいろなことを体験しました。日本との いなどもたくさん しました。家族や友だちの大切さも今まで以上にわかりました。この経験を生かして、英語の勉強をもっとがんばり、いろいろなことに積極的に していきたいと思えます。

レポート

N. . 犀川中学校 1年
 ホームステイ家族：Green
 お母さん：Narelle
 兄弟： rin, Kahlia, S ye, and Ro ie



家族との写真

| | |
|----------------------------|--------------------------------|
| よかったこと ・ジバン学校の生徒と出会ったこと | きつかったこと ・飛行機での移動 ・バスでの移動 |
|----------------------------|--------------------------------|

食べ物

| | |
|-----------------|---------------------------|
| 美味しかったもの ・・・ | 苦手だったもの ・マカロニパスタ ・シリアル |
|-----------------|---------------------------|

思い出 ベスト3!

- 1 ブロック
- 2 ポニーに乗ったこと
- 3 ジバン学校

ホームステイの思い出

私はホームステイに行っていていい思い出がたくさんできたと思います。

最初は、私はホームステイに行きたいと思ってはいませんでした。私は人見知りな方なので、知らない人の家に まるなんて考えられなかったです。でも、ホームステイに行く日が近 くに近づいて、とても楽しみになってきていました。

そして 日。ホストファミリーに会うのはその次の日でした。初めてホストファミリーに会ったときは、何もかもがわからない言葉なので、通じ えるのかなと不安でいっぱいでした。でも、ホストファミリーの人たちも気を使ってくれて、ホームシックになることはありませんでした。

初めてジバン学校に行ったときは、みんなが話しかけてきてくれてとても楽しかったです。私が一 好きになったのは、私と じ年の 年生です。

私から積極的に話しかけることもありました。なかなか通じなかったのが だったけど。でもジバン学校に通った日々はととてもとても楽しくて私の一 の思い出になりました。

もし、 年も今年と じ場所に行くのなら私は っ たいにまた行きたいです。ジバン学校には3日間しか通えなかったし、ホームステイの 間も短かったから、とてもさびしかったです。

ホームステイは私の中で一生の思い出になりました。また、みんなと会いたいです。



ホームステイ家族との対面



ポニーに乗りました



町を後ろに展望台から



ジバン学校の の子と

みやこ町 ホームステイ事業 アンケート調査

— 研修生編 —

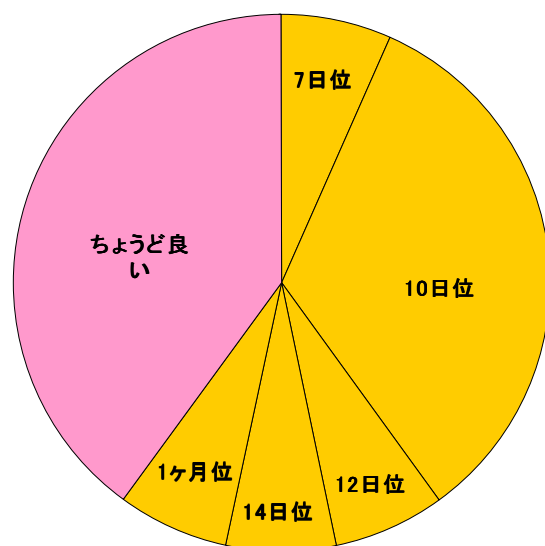
2006 企画調整課

問1. 研修の日数について

| | | |
|----------|----|-------|
| ① 長すぎた | 0人 | 0.0% |
| ② 短すぎた | 9人 | 60.0% |
| ③ ちょうど良い | 6人 | 40.0% |

○「②短すぎた」の内訳

| | |
|-----------|----|
| 7日くらいがよい | 1人 |
| 10日くらいがよい | 5人 |
| 12日くらいがよい | 1人 |
| 14日くらいがよい | 1人 |
| 1ヶ月くらいがよい | 1人 |

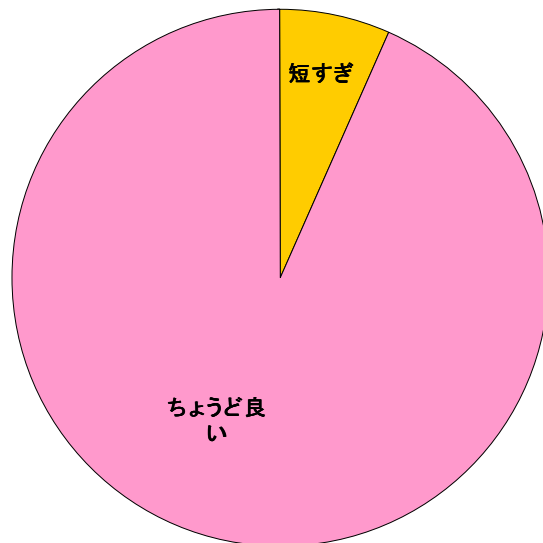


問2. 授業時間について

| | | |
|----------|-----|-------|
| ① 長すぎた | 0人 | 0.0% |
| ② 短すぎた | 1人 | 6.7% |
| ③ ちょうど良い | 14人 | 93.3% |

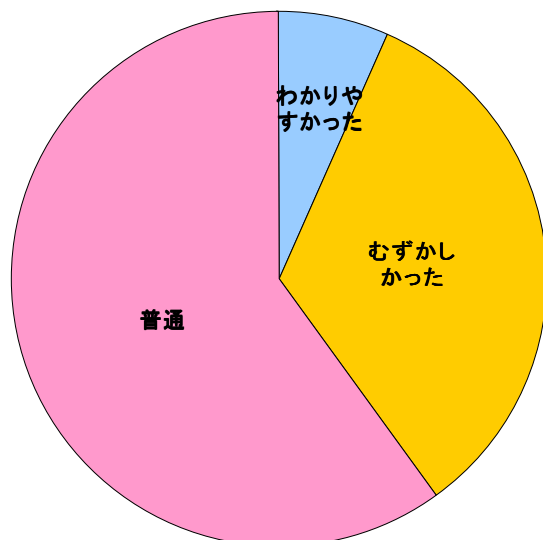
○「②短すぎた」の内訳

| | |
|-----------|----|
| 6時間くらいがよい | 1人 |
|-----------|----|



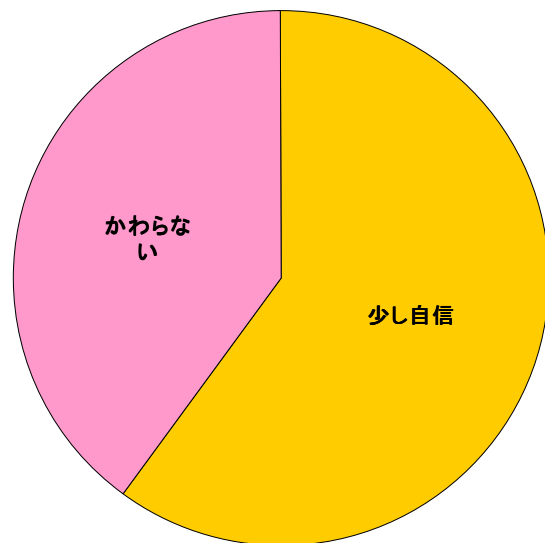
問3. 授業内容について

| | | |
|------------|----|-------|
| ① わかりやすかった | 1人 | 6.7% |
| ② むずかしかった | 5人 | 33.3% |
| ③ 普通 | 9人 | 60.0% |



問4. 授業を受けて英語(英会話)に

| | | |
|-----------------|----|-------|
| ① かなり 自信がついた | 0人 | 0.0% |
| ② 少し 自信がついた | 9人 | 40.0% |
| ③ かわらない | 6人 | 60.0% |



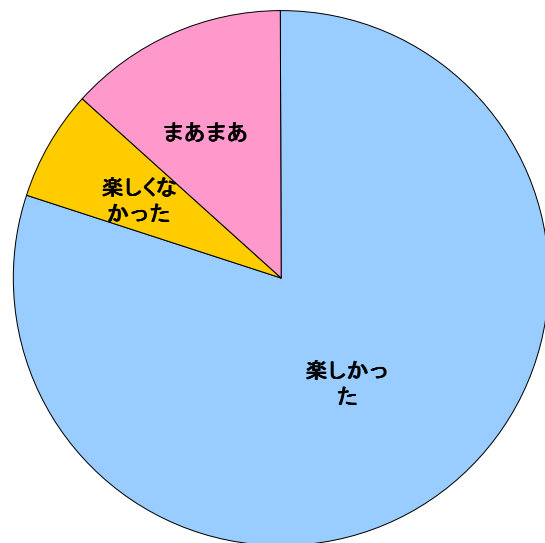
問5. 授業で一番思い出に残ったこと

- 5年生といっしょにスポーツをしたこと
- ゲーム
- 英文をかいて、先生にほめられたこと
- 授業は思ったよりわかりやすかったこと
- 単語当てゲーム
- 絵日記を英語で書いたこと

.....etc

問6. 午後のアクティビティ (市内散策)について

| | | |
|---------------|----|-------|
| ① 楽しかった | 1人 | 6.7% |
| ② 楽しく なかった | 5人 | 33.3% |
| ③ まあまあ だった | 9人 | 60.0% |



ホストファミリーのことに
ついておたずねします。

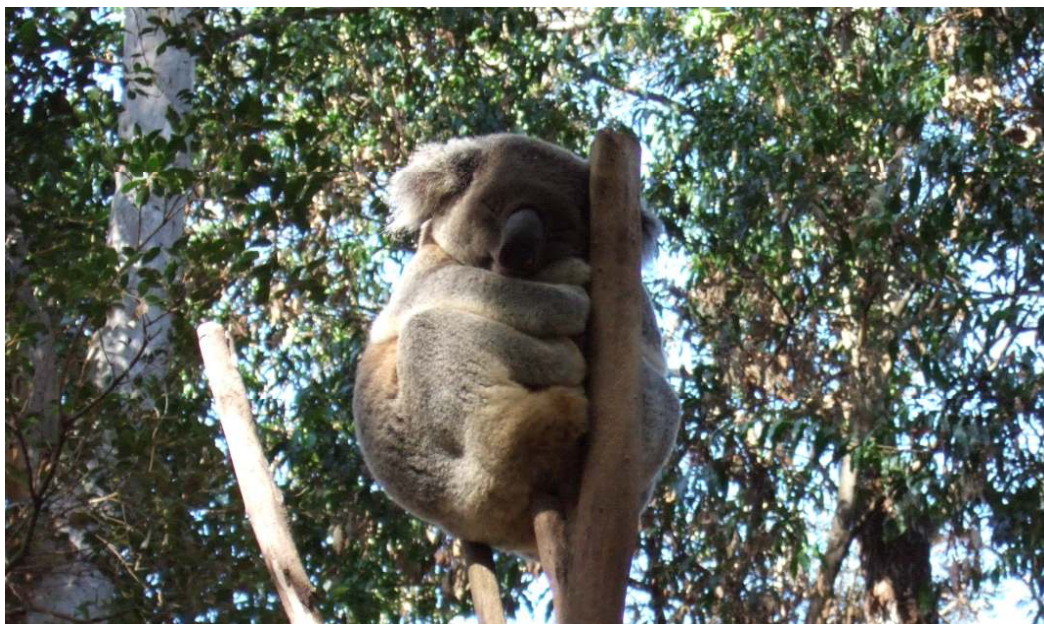
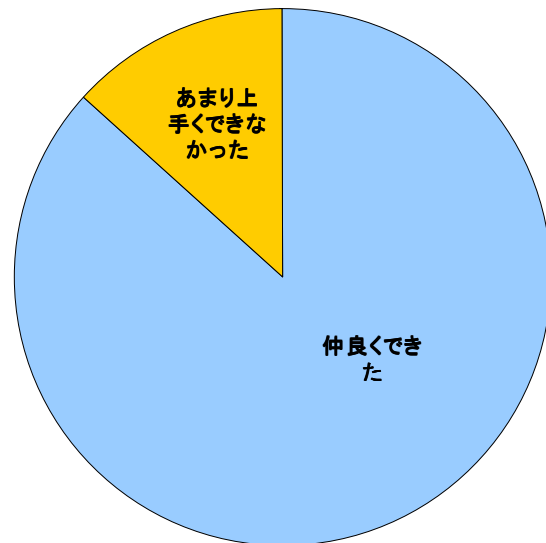


写真:コアラ

問7. ホストファミリーとの生活について

| | | |
|------------------|-----|-------|
| ① 仲良く生活できた | 13人 | 86.7% |
| ② あまり上手く生活できなかった | 2人 | 13.3% |

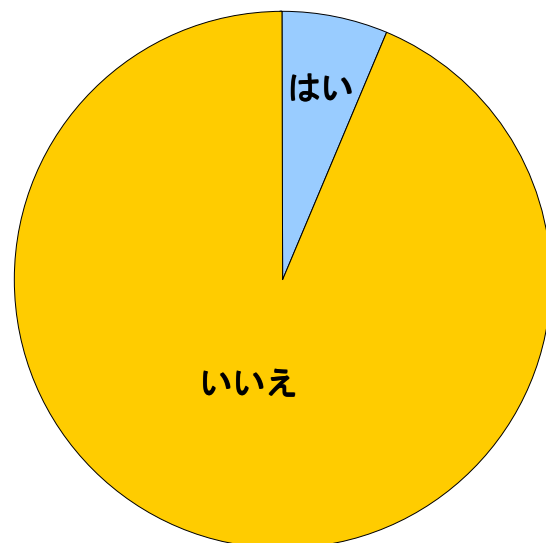


○②の理由

- 言いたい事がなかなか伝わらなかった。
- コミュニケーションが上手く取れなかった。

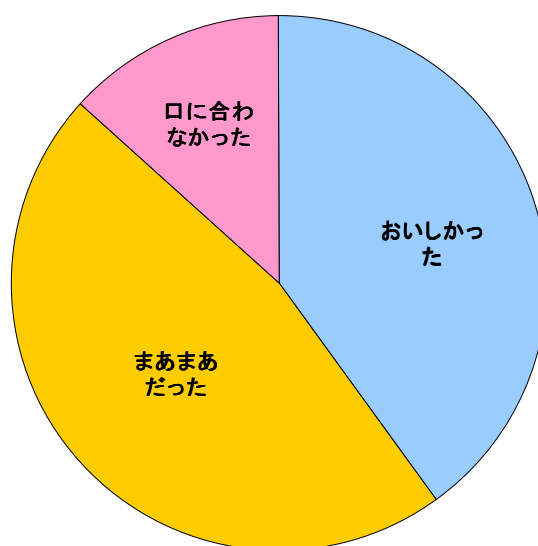
問8. ホームシックにかかりましたか

| | | |
|-------|-----|-------|
| ① はい | 1人 | 6.7% |
| ② いいえ | 14人 | 93.3% |



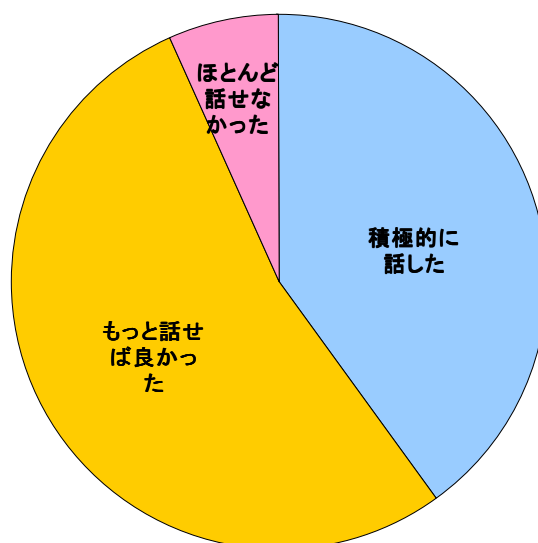
問9. ホームステイでの食事について

| | | |
|------------|----|-------|
| ① おいしかった | 6人 | 40.0% |
| ② まあまあだった | 7人 | 46.7% |
| ③ 口に合わなかった | 2人 | 13.3% |



問10. ホストファミリーとの会話について

| | | |
|---------------------|----|-------|
| ① 自分なりの英語力で積極的に話した | 6人 | 40.0% |
| ② もっと自分から話せば良かったと思う | 8人 | 53.3% |
| ③ ほとんど話せなかった | 1人 | 6.7% |



問11. ホストファミリーと何をして 過ごしましたか

- 折り紙
- お手玉
- かるた
- けん玉
- こま
- 紙ふうせん
- シーワールドへ行った
- ショッピング
- お話し
- 卓球

- 絵を描いた
- 馬のお世話
- 動物小屋の掃除
- 馬に乗った
- ビーチに行った
- 写真をとった
- ゲームなどをして遊んだ
- ピアノのレッスン
- 一緒にテレビを見た

...etc

問12. ホストファミリーとの 一番の思い出は

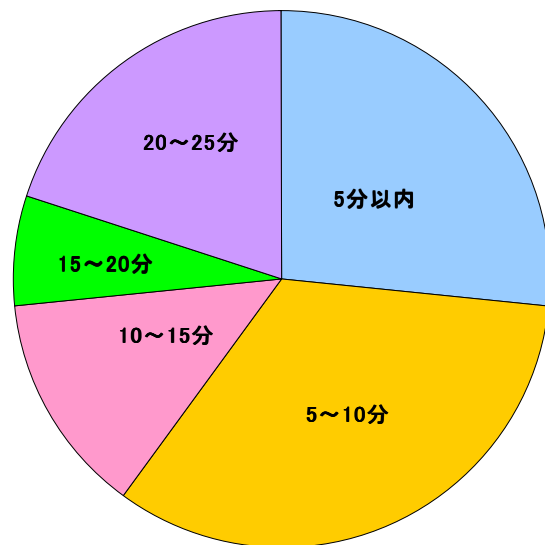
- おり紙で遊んだこと
- 馬に乗せてもらったこと
- サンシャインコーストへ行ったこと
- ショッピング
- ビーチに行ったこと
- ホームシックで泣いた時なぐさめてくれたこと

- シーワールドへ行ったこと
- 海や湖に行ったこと
- 船に乗ったこと
- 馬の世話など
- カルタをしたこと

...etc

問13. ホスト先から学校までの 通学時間について

| | | |
|-----------------|----|-------|
| ① 徒歩・車で 5分以内 | 4人 | 26.7% |
| ② 車で 5~10分 | 5人 | 33.3% |
| ③ 10~15分 | 2人 | 13.3% |
| ④ 15~20分 | 1人 | 6.7% |
| ⑤ 20~25分 | 3人 | 20.0% |



問14. 日本とオーストラリアとの ちがいで気づいたところ

- 歩行者信号が短い
- 授業時間が短い
- 街と田舎がはっきり区切りがついている
- 湿度が低い
- モーニング・ティー(おやつの時間)がある
- 物がデッカイ!

- 水を大切にるところ
- 高速道路が無料
- 後ろの席もシートベルトをしないとイケない
- テンションが高い

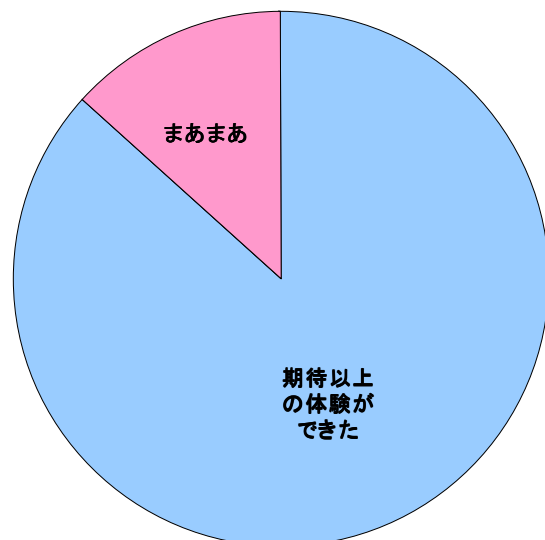
問15. 持っていけばよかったと思った物

- おり紙のおり方の本
- くし
- リップ
- 飲み物
- だるまおとし
- トランプなど

- 英和辞典・辞書
- 何か話の盛り上がりそうな物
- 日焼け止め
- 日本のCD
- 米

問16. この事業に参加しての感想

| | | |
|-----------------|-----|-------|
| ① 期待以上に良い体験ができた | 13人 | 86.7% |
| ② 期待していた程でもなかった | 0人 | 0.0% |
| ③ まあまあだった | 2人 | 13.3% |



みやこ町 ホームステイ事業 アンケート調査

—保護者編—

2006 企画調整課

問1. 研修の実施時期について

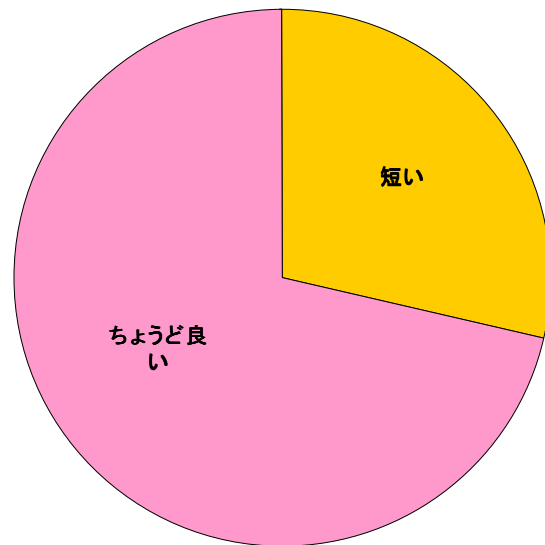
| | | |
|-----------|----|-------|
| ① ちょうど良い | 8人 | 57.1% |
| ② 早い時期が良い | 5人 | 35.7% |
| 遅い時期が良い | 0人 | 0.0% |
| 無回答 | 1人 | 7.1% |

※コメント

8月上旬または春休み期間中

問2. 研修日数について

| | | |
|----------|-----|-------|
| ① 長い | 0人 | 0.0% |
| ② 短い | 4人 | 28.6% |
| ③ ちょうど良い | 10人 | 71.4% |

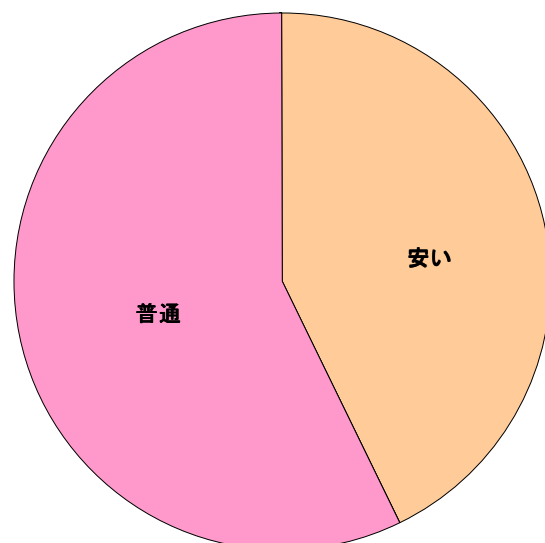


※コメント

10日間～14日間でも良いのでは？

問3. 研修費用について

| | | |
|------|----|-------|
| ① 安い | 6人 | 42.9% |
| ② 高い | 0人 | 0.0% |
| ③ 普通 | 8人 | 57.1% |

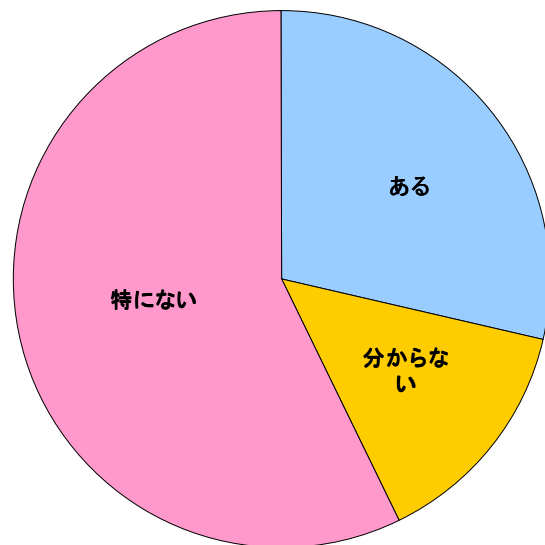


問4. 研修を終えてお子さんの生活態度の変化について

| | | |
|---------|----|-------|
| ① ある | 4人 | 28.6% |
| ② 分からない | 2人 | 14.3% |
| ③ 特にない | 8人 | 57.1% |

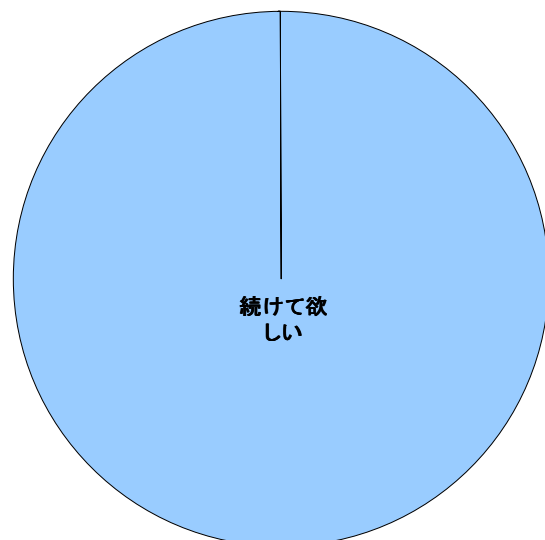
※コメント

- ホームステイに関心を持つようになった。
- 英語でメールを送っていた。
- 自分に自信がつき、世界に目をむけるようになった。
- 家族での会話が増えた。
- 家族に対して色々と気を使う様になった。



問5. ホームステイ事業について

| | | |
|----------------------|-----|------|
| ① 継続して続けて欲しい | 14人 | 100% |
| ② あまり効果がないのでやめたほうが良い | 0人 | 0.0% |
| ③ よくわからない | 0人 | 0.0% |



問6. ホームステイ事業へのご意見・ ご感想について①

- 「とても楽しかった」と笑顔で帰ってきてくれたので、本当に嬉しく思っています。事前研修で、他の学校の友達もでき、安心して研修に参加できた様です。ホームステイ先でもすぐに仲良くなり、とても充実した日々を過ごせた様で、本当に良かったと思います。有り難うございました。
- オーストラリアだけでなく、他の国々の研修も有れば良いと思います。事前の研修でホームステイ先の国の学習をもっとしておけば良かった(自分で勉強させる)。
- おかげ様でよい体験になったと思います。今すぐ、変わりはありませんがこの体験が将来何かの時にきっと思い出し役立ってくれることを願っております。同行していただいた職員の方、又関係者の方々へお礼を申し上げます。
- お世話になりました。よい体験ができたことと思います。ありがとうございます。
- すごく感動して帰ってきました。多少英語が話せたので相手とのコミュニケーションも少しできたようです。世界にはばたくには良い1歩という感じでよかったですと思っています。
- とてもよい事業だと思い、又、その事業への子どもを参加させることが出来、良かったと思っています。海外の文化に直接ふれる事により、子供のこれからの成長にとっても貴重な体験が出来たのではないのでしょうか。
- ホストファミリーの人達に、とっても大事にされ又行きたくなる様な気持ちになった様です。言葉のかべをあまり感じない様な生活が送れたと本人も喜んでます。お世話になりました。ありがとうございます。
- 今回クジだったので行けなかった子どもは残念だったと思う。また、前回行った方の話しとかが聞けたら不安が少なかったかもしれません。(おみやげ、気候) 自分の子どもはとても良い体験をしたと思います。いろいろとお世話してくださり、ありがとうございました。

問6. ホームステイ事業へのご意見・ ご感想について②

- 行き先が遠いので移動に日数の半分をつかっていたので、少しもったいない気がした。滞在期間は、せめて一週間あれば・・・と思う。しかし、ホストファミリーにすると今くらいが良いのかとも思う。事前に提出しておいた個人プロフィールをホストファミリーの方がとてもよく読んでくれていたので、そのことについてすぐ話しかけてくれたと言っていました。「何を話せばよいのか・・・？」と思っていたのでとても助かったと言っていました。旅行会社の方、引率してくれた役場の方々、本当にありがとうございました。
- 今回の研修参加によって、少しでも海外に目を向ける事が出来また英語力のなさを痛感したと思います。今迄と違う意味で英語の勉強に取りくんでくれるのではないのでしょうか？ 一番嬉しかったのは「すごく楽しかった。又、行きたい。」と言われた事です。今回の研修に参加させて本当によかったなあと思いました。
- 最近、ホームステイを希望する子ども達が増えている様で環境に応じて、自分で考え行動する事を体験でき大変勉強になり、これからの生活に大いに役に立つと思います。この度は関係者の皆様には、大変お世話になり、ありがとうございました。
- 宿泊先が、早めに分れば、そのメンバーでお土産等の打合せができて良いと思いました。
- 初めての海外、初めてのホームステイ、見るもの感じるものすべてが初めての事ばかりだったと思います。この期間の体験は一生の宝になったでしょう。にこにこ笑顔で帰ってこれた事が何よりでした。引率の方々をはじめ、関係者皆様お世話になりました。お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

終わりに

福岡空港を発ち、シンガポール空港経由で約19時間の道のりを経て、オーストラリア・ブリスベン空港に到着しました。この間、空港での長い待ち時間や、機内で一夜を明かすなど、研修生にとって初日から大変な経験することとなりました。

ホストファミリー宅で初めての夜を過ごした翌日は、日曜日ということもあり、海、テーマパーク、それからショッピングなど、ホストファミリーの家族の一員として、一日を過ごし楽しい思い出を作ったことと思います。

研修4日目からの3日間は、ホストファミリーの子どもたちと一緒に学校に通い、英語やオーストラリアの文化を学びました。授業では、先生が行っていることがわからずに困惑している様子もありましたが、学校の生徒たちとのゲームやスポーツゲームをするときは、何の違和感も無く遊んでいる姿に驚かされました。

ホストファミリーと別れるときには涙するものもあり、ホームステイ5日間で家族の一員として、というより、家族そのものという印象を受けました。研修生は親元を離れ、7千キロの彼方で言葉の壁を乗り越え、とても多くの、また、とても貴重な体験をしました。今回の研修で研修生は一回り大きくなったのではないかと感じています。

保護者の皆様、並びに研修生の皆さん、大変お疲れ様でした。

企画調整課 進 光晴

7月11日からの事前研修に始まり、一月半にわたったホームステイ事業。オーストラリアでの本研修も終わってしまうとあっという間の8日間でした。言葉や文化の違いはもちろん、研修生のほとんどは初めての海外だったうえ、長時間の飛行機や空港での長い待ち時間など体力的にもとてもハードな体験だったと思います。

この研修で特に心に残ったのは、現地学校で見た日本人生徒とオーストラリア人生徒の行動の違い。良くも悪くも協調性のある日本人に対して、自己主張の強いオーストラリアの生徒。育った環境でこんなにも違うものかととても驚きました。

この研修をきっかけに、研修生たちがいろんな国や地域に関心を持ち、様々な文化や価値観に触れ、視野の広い、スケールの大きな人間になってくれることを願います。

最後に、参加を認めてくださった保護者の皆様、参加を希望してくれた生徒のみなさん、本事業にご理解とご協力をいただいたすべての皆様に感謝いたします。

企画調整課 熊田 裕介

